

RX

LEXUSの
進化と変革を象徴するRX。

LEXUS



レクサス小石川は、2005年の開業以来、地域の皆様に支えられ、お陰様で今年で「20周年」を迎えます。

これからも当店でしか体験できないレクサスライフをお届けしてまいります。

当店の紹介動画やイベントの様子は、下記QRコードよりご覧ください。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。



レクサス小石川販売株式会社

〒112-0006 東京都文京区小日向4-1-1
Tel 03-3813-3331 / Fax 03-3812-0006
営業時間:9:30~18:00 定休日:毎週火曜日

ブルース・リウ

ピアノ・リサイタル

Bruce Liu

Piano Recital

© Sonja Mueller

2025年3月18日(火) 19:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

7:00p.m., Tuesday, March 18, 2025 at Tokyo Opera City Concert Hall

【主催】 ジャパン・アーツ

【後援】 カナダ大使館 【協力】 ユニバーサル ミュージック

チャイコフスキー：『四季』 Op.37bisより 1月～6月

P.I. Tchaikovsky: "The Seasons" 12 characteristic pieces for solo piano, Op.37bis, January - June

1月 炉端にて / 2月 謝肉祭 / 3月 ひばりの歌

4月 松雪草 / 5月 白夜 / 6月 舟歌

January. At the Fireside / February. Carnival / March. Song of the Lark

April. Snowdrop / May. White Nights / June. Barcarolle

チャイコフスキー(ワイルド編)：バレエ《白鳥の湖》Op.20より「4羽の白鳥たちの踊り」

P.I. Tchaikovsky: Dance of the Four Swans from Ballet "Swan Lake" Op.20 (arr. by E. Wild)

スクリャービン：ピアノ・ソナタ第4番 嬰へ長調 Op.30

A. Scriabin: Piano Sonata No.4 in F-sharp major, Op.30

第1楽章：アンダンテ

1st Mov.:Andante

第2楽章：プレスティッシモ・ヴォランド

2nd Mov.:Prestissimo volando

.....

チャイコフスキー：『四季』 Op.37bisより 7月～12月

P.I. Tchaikovsky: "The Seasons" 12 characteristic pieces for solo piano, Op.37bis, July - December

7月 刈り入れ人の歌 / 8月 収穫 / 9月 狩り

10月 秋の歌 / 11月 トロイカ / 12月 クリスマス

July. The Reaper's Song / August. The Harvest / September. The Hunt

October. Autumn Song / November. Troika / December. Christmas

プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 Op.83「戦争ソナタ」

S. Prokofiev: Piano Sonata No.7 in B-flat major, Op.83

第1楽章：アレグロ・インクイエート

1st Mov.: Allegro inquieto

第2楽章：アンダンテ・カロロソ

2nd Mov.: Andante caloroso

第3楽章：プレチピタート

3rd Mov.: Precipitato

当初予定のプログラムから一部変更がございます。

ブルース・リウ 2025年3月 日本公演スケジュール

| | | | |
|----------|------|-----------------------|-------------------------|
| 3月14日(金) | [仙台] | 日立システムズホール仙台 コンサートホール | 主催：(公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団 ★ |
| 3月15日(土) | [仙台] | 日立システムズホール仙台 コンサートホール | 主催：(公財)仙台フィルハーモニー管弦楽団 ★ |
| 3月17日(月) | [川崎] | ミュウザ川崎シンフォニーホール | 主催：神奈川芸術協会 |
| 3月18日(火) | [東京] | 東京オペラシティ コンサートホール | 主催：ジャパン・アーツ |

★ 仙台フィルハーモニー管弦楽団との共演 (指揮：高関健)



ブルース・リウ (ピアノ)

Bruce Liu, Piano

2021年第18回ショパン国際ピアノコンクール優勝。「息をのむような美しさ」(BBCミュージック・マガジン誌)の演奏で、この世代で最もエキサイティングな才能を持つピアニストとの評判を確立した。

2024年はラインガウ音楽祭のフォーカス・アーティストとして、リサイタル、室内楽、そしてフランクフルト放送響、ドイツ・カンマーフィル、チューリッヒ・トーンハレ管との

共演と全5公演に出演した。2024/25年シーズンは、グスターボ・ヒメノ指揮ルクセンブルク・フィル、サー・アントニオ・パッパーノ指揮ロンドン響、アラン・アルティノグル指揮フランクフルト放送響、マリー・ジャコ指揮ウィーン響、クリスティアン・マチュラル指揮フランス国立管、タンゲルウッド音楽祭にてボストン響、デンマーク国立響、ケルン放送響、シンシナティ響などと共演。今年6月にはラハフ・シャニ指揮ロッテルダム・フィルと再び来日する。これまでには、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、フィラデルフィア管、モンリオール響、フィルハーモニア管、NHK響などの主要オーケストラと、ライアン・パンクロフト、チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィ、ファビオ・ルイーゼ、ヨアナ・マルヴィッツ、サントゥ=マティアス・ロウヴァリ、ヤニック・ネゼ=セガン、ジャンドレア・ノセダなど著名な指揮者と共演した。

リサイタルではこれまでに、ブリュッセルのボザール、ウィグモアホール、フィルハーモニー・ド・パリ、東京オペラシティなどに出演。2024/25年シーズンには、カーネギーホール、シャンゼリゼ劇場、アムステルダム・コンセルトヘボウなどで再演するほか、ウィーン楽友協会、ミュンヘン・プリンツレーゲンテン劇場でデビュー予定。

ドイツ・グラモフォンの専属レコーディング・アーティスト。デビュー・アルバム「Waves」はオーパス・クラシックの「Young Talent Of the Year」賞(2024年)を受賞。最新作は「チャイコフスキー：四季」。

リチャード・レイモンドとダン・タイ・ソンに師事。中国人の両親のもとにパリで生まれ、モンリオールで育った。驚異的な芸術性は、ヨーロッパの洗練、北米のダイナミズム、そして中国文化の長い伝統といった多文化の遺産によって形作られてきた。



Bruce Liu,
Piano

青澤隆明 (音楽評論) Takaakira Aosawa

季節はめぐり、歳月は響きあう。春になれば、また新しい息吹きを感じられる。それぞれの生命にとって、今年の春はこの春のほかにはないとしても、大地の上に四季は多彩にめぐる。

ブルース・リウにとって、ピアニストとしての新しい季節の始まりのように、ロシア音楽の多様な名作が、こうしてプログラムに組まれている。ショパン・コンクールに優勝した後に、彼が親密に向きあったというチャイコフスキーの『四季』から始まる物語は、詩的な情感に彩られるばかりではない。スクリャービンやプロコフィエフで、20世紀へと歩むロシア音楽の多様なプリズムを、精神の内なる季節とともに織りなしていく。ブルース・リウの新しい光景が、自ずと清新にひらかれてくることが期待されよう。

チャイコフスキー：『四季』Op.37bis より 1月～6月

ロシアにヨーロッパ音楽が導入されたのは18世紀になってからで、その固有の情緒と近代ピアノ奏法が魅力的に融合するのは、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー(1840～93)の創作においてだった。1874年秋から75年にかけて作曲された変口短調のピアノ協奏曲で、30代半ばの作曲家の名声は一躍高まった。チャイコフスキーにとってピアノはもっとも身近な楽器だけに、生涯にわたってかなりの数のピアノ曲が書き継がれていった。

『四季-12の性格的小品』は、チャイコフスキーの本拠地ペテルブルクで新創刊された月刊音楽誌『スヴェリスト』の企画に応じて作曲された小品連作。月ごとに相応しいロシアの詩を編集人が選び、チャイコフスキーが曲を寄せる連載を通じ、1875年12月から76年11月にかけて12の小品が順次発表されていった。1885年には『四季』として、全12曲が合わせてユルゲンソン社から出版される。

エビグラフに掲げられたプーシキン、マイコフ、ネクラーフ、ジュコフキーらの詩行と響き合うように、チャイコフスキー天性の感傷的な旋律、精妙な和声やリズムが調和して、ロシアの情緒が密やかに美しく歌い上げられている。曲は平明な3部形式で書かれ、オーケストラの多様な楽器も想起させる響きが、細やかな色彩で随所に鏤められている。

本日もロシアの旧暦にそって、まずは年明けから夏を迎えるまでの前半6曲が演奏される。

「1月 炉端にて」イ長調、「2月 謝肉祭」ニ長調、「3月 ひばりの歌」ト短調、「4月 松雪草」変口長調、「5月 白夜」ト長調、「6月 舟歌」ト短調。

チャイコフスキー(ワイルド編)：バレエ《白鳥の湖》Op.20より「4羽の白鳥たちの踊り」

チャイコフスキーの天才は、バレエ音楽の分野で多彩に花開いていった。いわゆる3大バレエ《白鳥の湖》Op.20、《眠れる森の美女》Op.66、《くるみ割り人形》Op.71、そして《シンデレラ》も計画したように、彼のイマジネーションはメルヒェンを得意としていたのである。

帝政時代のロシアではオペラとバレエが人気を博しており、新進作曲家チャイコフスキーは1875年から翌春にかけて全4幕の傑作バレエ《白鳥の湖》Op.20を作曲する。『四季』の連作とも重なる時期だ。しかし1877年、モスクワ帝室ボリショイ劇場での初演は好評を得られず、作曲家の没後にマリウス・プティパとレフ・イワノフが改めて振付けた蘇演により決定的な人気と評価が確立された。

その第2幕の人気曲、蘇演版でいう「4羽の白鳥の踊り」を、アメリカの名ヴァルトゥオーゾ、アール・ワイルド(1915～2010)が洒落なピアノ独奏曲として編曲したものが、ここで舞い踊られる。

スクリャービン：ピアノ・ソナタ第4番 嬰へ長調 Op.30

アレクサンドル・スクリャービン(1872～1915)は、モスクワに生まれ同地でなくなったロシアの鬼才。自作自演のピアニストとして優れた資質をみせた彼は、10曲のソナタを生涯にわたって書き継いでいった。

ソナタ 第4番 嬰へ長調 Op.30は1899年に構想され、多作の年1903年に書き上げられた。スクリャービンは1890年代半ばにはワグナーに心酔して決定的な影響を受け、20世紀に入ると帝政末期に隆盛したロシア象徴主義文学や神秘主義思想に深く傾倒していく。本ソナタでは、転調を多用して新しい響きを目指し、独特のリズムも用いて、新たな作風を追究し始めている。

連続する2つの楽章が、全体として1つの有機的な宇宙を形づくる。序奏的な役割をもつ第1楽章アンダンテ(嬰へ長調、8分の6拍子)は、様々な要素を抱きつつも夢みするような甘美さをもつ。作曲家によれば「理想への努力と、その後の倦怠」を表現している。切れ目なく続く第2楽章プレスティッシモ・ヴォランド(嬰へ長調、8分の12拍子)は躍動感に溢れ、標記どおり「飛翔するように」ファンタジーを高揚させていく。

チャイコフスキー：『四季』Op.37bisより 7月～12月

スクリャービンの^{ほのお}焔の夏を経て、チャイコフスキーの夏の続きがくり広げられ、プログラムは秋から冬へと傾斜していく。

すなわち、「7月 刈り入れ人の歌」変ホ長調、「8月 収穫」ロ短調、「9月 狩り」ト長調、「10月 秋の歌」ニ短調、「11月 トロイカ」ホ長調、「12月 クリスマス」変イ長調。

トロイカは3頭立ての馬が引く橇のこと。そして、クリスマスのワルツが心温まる1年の結びを奏でる。

プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第7番 変口長調 Op.83「戦争ソナタ」

そして、プログラムの先には、荒涼として過酷な冬が待ち受ける。

セルゲイ・プロコフィエフ(1891～1953)は、ペテルブルク音楽院時代、モダニズムの鬼才として荒々しく鋭気を放った初期作から、多くの自作を初演してきた。プロコフィエフのピアノ・ソナタは9作が完成をみたが、ロシア革命後、15年を越える亡命生活を経てソヴィエト連邦に帰ってからは4曲のピアノ・ソナタが作曲された。

ソナタ第6番は自身で、第7番はスヴァトフラフ・リヒテル、第8番はエミール・ギレリスが初演したが、これら3部作は1939年に着手され、第7番は42年に完成。1941年秋から過酷な冬を凌いだレニングラード包囲戦を含め、対ドイツ戦争がもっとも激烈を極めた時期の作にあたる。不穏さは色濃く、リズムはより先鋭に、調性はますます不安で漠たるものとなるなか、プロコフィエフ持ち前のダイナミズムと直截さが強靱に貫かれ、綿密な構成に結実している。

ピアノ・ソナタ第7番 変口長調 Op.83は3楽章構成。第1楽章はアレグロ・インクイエート(8分の6拍子)、つまり「急速に、不安に揺れ動いて」幕開ける。異なるリズムで複数のモチーフが表れるこの主題と、「情感を込めて、そして悲痛に」と指示された旋律的な第2主題(8分の9拍子)によるソナタ形式楽章。第2楽章は、アンダンテ・カロロソ(4分の3拍子)の「情熱を込めた」息の長い緩徐楽章。第3楽章プレチタート(8分の7拍子)は文字どおり性急で、猛烈なフィナーレ。プロコフィエフ得意の打楽器的なピアノリズムで、白熱のクライマックスへと激しく高揚していく。



ARTIST SUPPORT

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。

「人のいるところには夢がいる」2026年には創業50周年を迎えるジャパン・アーツの理念です。どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。

これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。今年も引き続き変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い致します。

2024年度ご支援いただいた皆様

<2024年度 レ・ヴァン・フランセ 新作誕生サポートプロジェクト>

I.I. 石井登雄 木下靖子 雲然祥子 佐藤和美 杉浦敏浩 Y.T. 田中貴代美 S.T.
奈良佑紀 平山美由紀 堀内恵美

<2024年度 年間サポート>

朝妻幸雄 F.A. 井上豊 岩村和央 上原啓子 上村憲裕 M.U. K.O. S.O. 小田島容子 片山由美子
H.K. K.K. 栗田美知子 R.K. 新貝康司 M.S. M.T. R.T. A.D. 田中治郎 F.T. 東條Lilly
トゥルーラブ真智子 トゥルーラブ真凜 K.N. E.N. 兒子弥生 S.N. 長谷川智子 T.H. 樋口美枝子
響城れい M.H. 平山美由紀 藤野盾臣 松尾芳樹 松田孝裕 真野美千代 三木谷晴子 J.M. M.M.
株式会社青林堂 株式会社セキド 三井住友カード株式会社
株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント 株式会社ロジックアンドエモーション
ライフプラン株式会社 Heart of the Earth株式会社 きづきアセット株式会社
(匿名希望 27名)

<2024年度 福岡 洗太朗に「花を贈ろう!」>

あかほりみお 厚見有紀 F.A. J.A. 池田惇子 石黒裕康 石崎典子 井住智子 R.I. A.I. 岩塚究 K.U.
M.E. 猿渡かおり M.E. 大畑篤子 大原志津子 大原みずほ 小山田美代子 カッキー 柿信子 柏香織
T.K. 川島理絵 駒場雅世 A.K. 桜猫 桜井桂子 佐々木珠乃 佐野孝枝 A.S. N.S. 塩崎勢子 W.S.
A.S. 新里真美子 進導幸太郎 鈴木志保里 N.S. 早田利江 高島秀子 鷹巣綾子 高田恵子 N.T.
武田眞子 武田佳美 辻田奈津 土屋麻起 長江雅子 中嶋妙子 Y.N. 中島葉子 S.N. 中村祥子 A.N.
K.N. 野口由美 H.N. 林順子 平井聖香 平山美由紀 深堀悦代 S.F. 伏見由加 A.H. R.M. K.M.
三浦祐子 三浦洋子 村田恵美 村山幸恵 山口恵美 依田晴美
(匿名希望 24名)

<2024年 ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

井口和美 K.K. Rimiko M.H. M.M. 真野美千代 水足久美子 水足秀一郎 ロロコミ・リロコミ
(匿名希望 12名)

<2024年 ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

井口和美 T.O. K.K. Rimiko M.T. 平山美由紀 細沼康子 M.M. 真野美千代 村瀬治男 ロロコミ・リロコミ
(匿名希望 11名)

2025年3月2日現在 敬称略

アーティストサポートの詳細は
こちらをご覧ください。



【お知らせ】

現在2025年度年間サポートを受付中です。

詳細は、ジャパン・アーツの公式WEBサイトおよび公演チラシ挟み込みの申込用紙等をご覧ください。

